

令和3年度
名古屋産業大学
履修証明プログラム

募集要項

地域における中小企業活性化のための 社会人リカレント教育

文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」 認定



中小企業
活性化

名古屋産業大学



I. プログラムの概要

1. プログラムの名称

地域における中小企業活性化のための社会人リカレント教育

2. 目的・概要

本課程は、地域における中小企業活性化のための社会人リカレント教育（学び直し）の機会を提供し、ビジネス、情報、心理という三分野の最先端の実践的学びを提供します。その教育方法としては、(1)実務家教員や実務家による授業、(2)双方向若しくは多方面に行われる活発な討論を含んだ授業、(3)企業等と連携した授業の3種類が用意されています。特に、中小企業活性化のためには情報化が必須とされていますので、情報領域に重点をおいた課程になっています。

表紙にある本課程のロゴは、卵のかたちをしています。これは、企業内の新規事業の創出や起業を支えながら育てるという「インキュベーション（卵の孵化）」をイメージしています。ビジネス、情報、心理という三分野からの「学び直し」で、既存の事業にとらわれず新しい事業の柱を求める社会人の皆さまが、そのきっかけをつかむべく用意された課程です。

3. 募集定員

10名【最少開講人数2名】

4. 履修資格

高等学校以上を卒業し就業経験のある社会人で、学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者

5. 身に付けることのできる能力

- ① 中小企業のイノベーションに向けた組織改善や外部連携・ネットワーク構築力
- ② 職場内コミュニケーション、モチベーション、リーダーシップに関する知識
- ③ 業務効率化に向けた情報システムやWEB制作などの技能の習得

6. 開講科目及び担当者

- ① ビジネス系：「地域イノベーション・コラボレーション」 4回
担当者：今永 典秀（名古屋産業大学 准教授）
- ② ビジネス系：「市場調査論」 4回
担当者：丸岡 稔典（名古屋産業大学 講師）

- ③ビジネス系：「社会ビジネスデザイン」 4回
担当者：矢野 昌彦（名古屋産業大学 教授）
- ④ ビジネス系：「実践ネットワーク分析」 4回
担当者：内山 哲治（名古屋産業大学 教授）
- ⑤ 情報系：「Microsoft Access の利用技法」 12回
担当者：星野 雪子（名古屋産業大学 准教授）
- ⑥ 情報系：「顧客に伝わる WEB サイトづくり」 12回
担当者：河村 陽介（名古屋産業大学 講師）
- ⑦ 心理系：「産業・組織・消費者心理学入門」 4回
担当者：石川 美智子（名古屋産業大学 教授）
- ⑧ 心理系：「職場のコミュニケーション」 4回
担当者：宮坂 まみ（名古屋産業大学 講師）

※各科目 1 授業 「90 分 ×4 回（ビジネス系・心理系）」もしくは「90 分 ×12 回（情報系）」とし、計 72 時間（全 48 回）の授業が提供される。

※講義内容の詳細は、下記「II. プログラム開講科目の概要」、詳細日程は「開講スケジュール」を確認ください。

7. 修了要件

必修 8 科目計 72 時間による 60 時間以上の履修及び修了認定。
修了認定者へ「履修証明書」を交付する。

8. 申込書類

- ①履修証明プログラム入学志願書（本学所定用紙）
- ②最終出身学校の卒業証明書
- ③健康診断証明書もしくは定期健康診断結果の確認ができる書類

※ 日本国内に在留する外国人の方は、①～③に加えて在留カードまたは住民票の写しをご提出ください。

9. 申込期限

令和 3 年 3 月 19 日(金) (必着)

送付先 :名古屋産業大学 〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

※簡易書留等配達記録の確認ができる方法でお送りください。

10. 受講期間

令和 3 年 4 月 12 日 (月)～令和 3 年 9 月 30 日 (木)の受講期間に、原則、平日夜間

18:00～21:10(休憩 10 分含む)に実施する予定。コロナ禍の状況次第では、オンラインによる授業実施の可能性があります。

1 1. 受講場所

名古屋産業大学 尾張旭キャンパス (名鉄瀬戸線 尾張旭駅徒歩 7 分)
〒488-8711 愛知県 尾張旭市 新居町 山の田 3255-5

1 2. 費用

80,000 円 (内訳: 検定料 10,000 円、入学料 10,000 円、受講料 60,000 円)
※最少開講人数に満たない場合は、検定料を返還いたします。

1 3. 費用選考方法及び受講許可

原則、書類審査により選考します。但し、必要に応じて面接を実施することがあります。

※選考結果発表

令和 3 年 3 月 19 日(金)に「履修の可否」および「手続き要項」を発送 (投函)します。

1 4. 個人情報の取り扱いについて

本課程では、「名古屋産業大学・名古屋経営短期大学個人情報保護に関する規程」に準じて個人情報を取り扱いますのであらかじめご了承ください。出願に際して本学が得た申請者の個人情報については、選考および入学手続を行うために使用します。利用目的を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。

1 5. 問い合わせ先

名古屋産業大学 教務課 担当 : 林
TEL : 0561-55-3076 (平日 9:00～17:00)
e-mail : kyoumu@nagoya-su.ac.jp

Ⅱ. プログラム開講科目の概要

1. 【地域イノベーション・コラボレーション】（ビジネス系）

担当者：今永 典秀（名古屋産業大学 准教授）

授業の目標

昨今では、技術革新や通信技術の発達により、AI・IoTの発達に伴う仕事そのもののあり方や、情報データを駆使し業務改革などが進んでいる。一方で、社内における経営資源は限定的で新たな取り組みが困難なケースも多い。そのような中では、外部人材（プロボノ・兼業・副業）の活用による外部とのコラボレーションや、新たな人材を採用するためのインターンシップの活用や、インターンシップを通じた業務改善・実践的改革、これらの取り組みを実施するための外部連携について、実践事例より明らかにする。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・中小企業のイノベーション
- ・コラボレーション
- ・外部連携
- ・協働・共創
- ・ネットワーク構築力

2. 【市場調査論】（ビジネス系）

担当者：丸岡 稔典（名古屋産業大学 講師）

授業の目標

客観的なデータを収集し、その結果を分析し、有益な知見を導き出すことが様々な場面で求められる。市場調査とは市場の動向や顧客のニーズなどを科学的な方法で調査するものである。本講義ではビジネスで必要となる市場調査の基礎知識を習得する。そのために、市場調査の基礎となる統計学の理論、アンケート調査やインタビュー調査、インターネットを用いた実際の調査のデザインの仕方、ソフトウェアを用いた調査結果の分析方法などを学習する。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・市場調査の理論と実際の方法論を習得し、既存の市場調査結果を読解する力を身につける。
- ・自分で、実際にアンケートやインタビューなどの市場調査を計画し、実施できるようになる。

3.【社会ビジネスデザイン】（ビジネス系）

担当者：矢野 昌彦（名古屋産業大学 教授）

授業の目標

本課程は with/after コロナ時代を踏まえ、社会の変化を的確にとらえ、現状のビジネスモデルの再構築、地域特性を生かしたビジネスデザインや業種の垣根を超えた連携、AI/ICT活用の推進、持続可能な経営管理などが必要です。新たなビジネスキャリアアップや再就職を考える社会人を対象にビジネスデザインと経営管理の知識と能力を養成することを目的としています。

理論と応用を学修し、双方向的な学びと実務家教員による実践的な学びのプログラムにより、管理職として、社会に貢献できるビジネスの創出及び経営課題解決に資する実践的な能力の向上を目指します。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・管理職に必要な経営企画、新規事業の企画、ベンチャー企業等への事業投資、経営管理、金融・会計に関する基礎知識と実践的能力
- ・AI/IoT を活用したビジネスモデル構築、ビジネスコミュニケーション能力

4.【実践ネットワーク分析】（ビジネス系）

担当者：内山 哲治（名古屋産業大学 教授）

授業の目標

どのような組織に所属していても、わたしたちは人間関係に苦勞する。米国コロンビア大学の社会科学研究所「ストラクチャー・プロジェクト」で担当者も開発に関わりコンサルティングにおける手法の一つとして使用されてきた極めて斬新な方法論を習得する。そして、自らが拘る人的関係の構造を明らかにしていく（数学・統計・プログラミングの知識は一切必要ない）。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・職場の組織改革能力
- ・「弱い紐帯」及び「ネットワーク・ホール」の発見能力
- ・戦略的人的ネットワークの活用能力

5. 【Microsoft Access の利用技法】（情報系）

担当者：星野 雪子(名古屋産業大学 准教授)

授業の目標

情報技術が浸透している現状で、活用されているのがデータベースである。データベース(database)は「データの基地」という意味で、インターネット上の情報も企業の情報もデータベースとして管理されている。データは多ければ多いほど活用できる幅が広がるため価値が上がる。大量のデータは、関連性を整理してデータベースとして操作、管理するシステムにより利用できようになる。リレーショナルデータベース(RDB)管理システムにおけるデータの蓄積と情報検索について、データベースソフト「Microsoft Access」の利用技法と RDB 標準言語 SQL の記述技法を習得して、実務で活用できるようになることを目標とする。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・企業の業務システムにおいて、一般的に利用されているリレーショナルデータベース(RDB)の利用技法を習得して、実務で活用できる能力
- ・Microsoft Access の利用技法の習得
- ・RDB 標準言語の SQL で記述された選択・射影・結合の処理能力

6. 【顧客に伝わる WEB サイトづくり】（情報系）

担当者：河村 陽介（名古屋産業大学 講師）

授業の目標

ユーザーが企業のサイトを見たときに直感的に内容がわかるような WEB サイトの構成について事例などの紹介を交えながらグラフィックデザイン、HTML コーディングの制作を行う。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・効果的なグラフィックデザイン、WEB 制作、UI の考え方や制作方法

7. 【産業・組織・消費者心理学入門】（心理系）

担当者：坂本 剛（名古屋産業大学 教授）

授業の目標

本講義では、職場の効率性や生産性、モチベーションなどに関する産業・組織心理学の知見と、消費者行動などに関する心理学研究の知見を体験的に学ぶ。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・モチベーションやリーダーシップに関する基礎理論を理解できる
- ・消費者心理学に関する基礎理論が理解できる

8.【職場のコミュニケーション】（心理系）

担当者：宮坂 まみ(名古屋産業大学 講師)

授業の目標

職場において円滑なコミュニケーションが行なわれることは、生産性やモチベーションの向上、メンタルヘルス不調の予防と介入など、多様な点において重要な意義を持つ。本講義では、職場におけるコミュニケーションの重要性についての知識を獲得すると共に、効果的な使い方についての技法を学ぶ。

到達目標

以下の能力を身に付ける：

- ・コミュニケーションが生産性やメンタルヘルスにおよぼす効果についての理解
- ・具体的なコミュニケーション技法

Ⅲ. プログラム開講スケジュール

1. 【地域イノベーション・コラボレーション】（ビジネス系）

4/10(土) ①②、4/17(土)③④

2. 【市場調査論】（ビジネス系）

5/8(土)①、5/15(土)②、5/22(土)③、5/29(土)④

3. 【社会ビジネスデザイン】（ビジネス系）

8/2(月)①②、8/9(月)③④

4. 【実践ネットワーク分析】（ビジネス系）

5/17(月)①②、5/24(月)③④

5. 【Microsoft Access の利用技法】（情報系）

5/11(火)①②、5/18(火)③④、5/25(火)⑤⑥、6/1(火)⑦⑧、6/8(火)⑨⑩、6/15(火)⑪⑫

6. 【顧客に伝わるWEBサイトづくり】（情報系）

6/22(火)①②、6/29(火)③④、7/6(火)⑤⑥、7/13(火)⑦⑧、7/20(火)⑨⑩、7/27(火)⑪⑫

7. 【産業・組織・消費者心理学入門】（心理系）

7/12(月)①②、7/26(月) ③④

8. 【職場のコミュニケーション】（心理系）

8/26(木)①、9/2(木)②、9/9(木)③、9/16(木)④

Ⅳ. 大学までのアクセス

■ 栄から 19 分

栄町駅から尾張旭駅まで名鉄瀬戸線で 19 分

■ 大曽根から 13 分

JR・名鉄・地下鉄の総合ターミナル大曽根駅から尾張旭駅まで 13 分

■ 名古屋から 30 分

名古屋駅から乗り換え含めて 30 分

